

【理事長退任ご挨拶】

NPO法人 食品保健科学情報交流協議会

前理事長 馬場 良雄

理事長退任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

2018年6月に理事長にご推挙頂き5年間務めさせていただきました。5年間のうち、3年間は新型コロナウイルスの影響で変則的な活動を余儀なくされましたがWEBやリニューアルしたホームページ等の活用により何とか活動継続する事が出来ました。昨年6月にはNPO食科協は20周年を迎えましたが、20周年記念事業を理事長として実行できました事光栄に思っております。理事・運営委員の皆様、講演会の講師を引き受けて頂いた方々はじめ会員の皆様のご協力、ご指導の賜であり心から感謝申し上げます。また、今回の総会にて退任されました理事の方々には長年のご指導に感謝申し上げます。

20周年食科協コミットメントにまとめています通り、世界的な状況、法規制、社会環境等大きく変化し続けております。変化を正しくとらえ、正しく理解し、正しく情報発信する事が求められており、食科協に求められる役割も大きいものがあると思います。

最近ではAIの発達により、AIが作成する情報も発信されることも予測され、受ける側が情報の真贋を確認する事も求められます。20周年記念事業に当たっての挨拶でも述べましたが、原子力発電所の事故後の放射能問題の当初、新型コロナウイルスの流行当初では、消費者の不安を掻き立てるマスコミ報道が続き、専門家と称する方の解説、有名人の自説発信等数多くの情報が錯綜し益々消費者を不安に陥れました。マスコミを含め状を発信する側、受ける側双方の冷静かつ適切な判断が必要かと思えます。

20周年の記念講演会ではNPO食科協の設立の基本理念に立ち返り、「リスクコミュニケーション」についてご講演頂きました。情報があふれる昨近、発信する側は「真に科学的に正しい情報」を「受け手が理解しやすく」発信することを心がけ、情報を受ける側は情報の発信源を含め真贋の判断も求められると思います。NPO食科協はこの20年間一貫して科学的に判断した信念に基づく情報発信を継続してきたものと思います。

食科協が、新しい理事長、専務理事、常任理事の体制で益々発展する事を願うと共に、賛助会員、会員の皆様の今後とも変わらないご支援、ご指導をお願い致しまして退任の挨拶とさせていただきます。今後は一理事としてバックアップさせていただきます。